

目次

『源氏物語』の和歌を読む(七)

「唐瓶子」考——徒然草一〇三段の読み方——

北毛俳壇の展開と月次句合(下)

——左部家旧蔵資料の語るもの(その3)——

モーパッサン、有島幸子と三遊亭円朝——『名人長二』論——

京都演劇改良会再考——高安月郊と明治三十年代京都劇壇の一断面

佐藤春夫と一九一〇年代(二三)

——ニーチェ・鵬外・大石誠之助との関わりをめぐる——

芥川龍之介における「語り得ぬもの」

——「羅生門」と「或阿呆の一生」を架橋するもの——

江戸川乱歩「湖畔亭事件」の大衆性について

——谷崎潤一郎「白昼鬼語」との比較を通して——

聖書の役割から読み解く「瓶詰地獄」

岡山疎開時代の永井荷風——菅原明朗『荷風罹災日乗註考』を読む——

山本周五郎『彦左衛門外記』論——妄想としての「代弁者」

文学の中の東洋医学・民間療法——伊藤桂一「寒い旅」論

澁澤龍彦「エピクロス」の肋骨」論——浮彫される「黒い影」について——

忘却への抵抗／差異の承認——日韓共同制作『焼肉ドラゴン』の方法

古典語複合動詞の後項「あふ」について

副詞「大方」の意味変化

書評 岡田薫著『室町時代末期の音韻と表記』

新刊紹介

二〇一三年度日本文学専修教員担当講義題目一覧

二〇一二年度博士論文・修士論文・卒業論文題目一覧

彙報・編集後記

加藤 陸

櫻井 靖久

加藤 定彦

宮 信明

後藤 隆基

石崎 等

天満 尚仁

宋 玕炫

大島 梢

嶋田 直哉

奈良 沙紀

小櫃暢太郎

大塚 祐未

松本 和也

徳本 文

李 知殷

中山 緑朗